

	平成 23 年度 第 4 回 NPO 法人介護支援専門員協会鹿児島 理事会
日 時	平成 23 年 12 月 12 日 (月) 17:30～
場 所	介護相談センター 真砂本町
出席者	会 長：大勝洋祐 副 会 長：宇治野由美子、木場秀逸 常務理事：阿久根平 理 事：原田卓也、佐藤三奈、新地一浩、小湊珠子、高野大輔（大川内一浩代理） 監 事：福永良弘
欠席者	理 事：吉永とも子
内 容	<p>1. 会長挨拶</p> <p style="text-align: right;">（大勝洋祐会長）</p> <p>最近では鹿児島県福祉用具協会と一緒に研修会を開催させていただきましたが、お互い得ることの多い有意義な研修会でした。介護保険の開設以来のこの 12 年を振り返ってみますと障害をうけて自立を妨げられた人、あるいはその面倒を見ている家族の人たちは介護地獄とよばれて、いたましい事件が新聞報道で珍しくありませんでしたが、当時を振り返ると平和な世界に戻った気が致します。これらの功績においてケアマネの存在は否定できないでしょう。生身の人間を相手に幅広く大変な難しい仕事をするようになるので杓子定規に当てはめれば良いケアプランができるというわけではないのです。利用者を中心とした人間関係をつくるような形でケアプランを作成し、これらの経験を重ねることにより、よりよいケアプランができ、さらにケアマネの資質の向上につなげていくようにしてほしい。</p> <p>ただ、ケアマネジメントは安易ではなく、対象者の要介護状態がどのような介護サービスの提供でどうなるのか、医療でいえば、診断、治療およびその効果までを見通した介護プランが求められているので、ハードルの高い仕事だと思います。かつ、サービス導入に必要な情報収集にあたって心のかもった温かい配慮を心掛けていただきたいし、私ども会員は、努力しているものと信じています。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 第 5 回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会報告について (12/1)</p> <p style="text-align: right;">（新地一浩 理事）</p> <p>議事 1 第 5 期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案に関するパブリックコメント手続きの実施結果については一部、計画に反映されることになった。</p> <p>議事 2 介護保険給付等の見込みについては国の改正案が協議中なため具体的な見込み量は 1 月に示す予定。</p> <p>新設サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び複合型サービスについても未定 4 月開始は困難といえる。）</p> <p>2) 第 1 回鹿児島県認知症疾患医療連携協議会について(11/14)</p> <p style="text-align: right;">（木場秀逸 理事 代理報告）</p> <p>1、開会の挨拶</p> <p>2、認知症疾患センター（指定医療機関谷山病院）の実績報告 H23 年 3 月～H23 年 10 月までの分 谷山病院認知症疾患医療センター 連携担当 内門氏にて</p>

- ①専門医療相談件数 面接 36 件 電話 236 件 合計 272  
 専門医療相談の内訳 鑑別診断・治療希望 158 件 入院希望 54 件
- ②紹介状 あり 87 件 なし 91 件
- ③初診患者の介護保険 未申請 42 件 不明 79 件 認定あり 57 件
- ・介護の必要な方が介護保険を利用できているか不明
  - ・初診から介護保険に繋げていくための仕組みがない
  - ・認知症疾患センターへその後の様子などの情報が戻ってこないなど改善すべき点等を今後見直していく予定
- ④鑑別診断件数 アルツハイマー型 109 件 脳血管性 4 件  
 混合型 9 件 初老期認知症 10 件  
 若年性認知症 0 件 うつ病 0 件 他
- ・疾患名の見直しをしていく予定

### 3、意見交換

- ・認知症の方とご家族を在宅で支えていくために
- ・地域での暮らしを継続していくためには
- ・専門医への受診が難しい
- ・ご家族への知識向上のための研修会が必要では？  
 などの意見交換が行われた。

### 3) 鹿児島市地域包括支援センター運営協議会について(10/31)

(新地一浩 理事)

#### 1、地域包括支援センター及び運営協議会について

前回の意見等の処理状況について機能や役割を担当者より説明

#### 2、地域包括支援センターの運営状況について

平成 23 年度事業計画について活動報告書の提出がなされた。

その他、日常生活圏域のあり方について見直される予定だが国の方針が明確化されておらず、方針転換によっては鹿児島市の日常生活圏域の数など変更される可能性がある。それに伴い、地域包括支援センター設置箇所を増減もあり得る。次年度の改正案に「30 分でかけつけられる距離」という定義が提案されている。

### 4) 第 2 回居宅委員会主催研修会について(11/19)

(小湊珠子 理事)

日 時：平成 23 年 11 月 19 日 (土) 14:00～17:00

場 所：かごしま県民交流センター 4 階 大研修室 4

参加者数：113 名

研修内容：講演①「がんサポートセンターの立場からケアマネージャーとの連携を考える」

講 師：NPO 法人 がんサポートかごしま理事長 三好 綾先生

講演②「在宅医療を行う医師の立場からケアマネージャーとの連携を考える」

講 師：上山クリニック 院長 上山 教夫先生

- ①三好先生より、みずからの 20 歳代の授乳期にがんを発症してからの体験談から、治療費や患者会を経験して NPO 法人がんサポートを立ち上げた経過やケアマネージャーに望む寄り添いの姿勢などのアドバイスがあった。女性は同じ目線で聞き入り、男性ケアマネは女性特有の病気の大変さを知る良い機会となった。

②上山先生より、事前に質問事項をお願いしていたので、先生の訪問診療の患者さんの事例も交えての講義内容であった。先生はいろいろな医師や病院の形態の食い違いもあるので、そこはMSWやコメディカルにも相談しながらぜひ連携を取ってほしいし、自分自身はケマネージャーさんの存在が欠かせないのでこれからも十分に連携を取りながら医療活動をしていきたいと熱く温かいエールを送っていただきました。  
多くの感想をいただき、今回の研修会はとても好評でした。

5) 第2回主任ケアマネ委員会主催研修会(12/3)

(阿久根平 理事)

日時：平成23年12月3日(月) 14:00～17:00

場所：かごしま県民交流センター 3階 大研修室2

参加者数：38名

研修内容：事例検討会～皆で考えよう！支援困難事例へのアプローチ～

研修会役割：進行、助言者・・・阿久根理事

助言者・・・宇治野副会長、小湊理事、内山氏

1、オリエンテーション(14:00～14:10)

研修の主旨と方法、役割分担の説明を行う。

2、事例の読み込みと事前ワークシートの記入(14:10～14:40)

出された4事例を4グループに分けて、それぞれ読み込みを行う。同時に出された情報の中から、参加した主任ケアマネが自分なりになぜ困難な状況になっているのかの分析を行い、事例ワークシートに書き込んでいく作業を行う。

3、事例検討会(14:50～16:20)

実際に「その人らしさ」を見つめながら、事例検討会の流れに沿って、司会者、書記、参加者、助言者の役割を担いながら検討会を行う。

4、各グループ発表、まとめ(16:20～17:00)

各グループから事例検討会の結果を発表する。

・事例提供者の気づき

・参加者の提案

・参加者の気づき

・事例検討会の振り返り

(1) 司会者、書記、参加者、助言者のコメント

・助言者を代表して宇治野氏の総括コメントを頂く。

<研修全体を実施しての感想>

今回は困難事例に焦点を当てた事例検討会を実施した。出された事例によって、それぞれに論点が違い、グループごとに様々な気づきがあった。「アンケートの中で他のグループの事例についても学びたかった」という意見を頂いたが、これについては今後の課題とする。今後も事例を用いた学習の機会を設けていく必要性を改めて感じた。

3. 協議事項

1) 第3回施設委員会研修会について

(原田卓也 理事)

研修内容：現在、検討中

日時：年度末に開催予定

2) 第3回居宅委員会主催研修会について

(小湊珠子 理事)

日 時：平成24年2月10日(金) 14:00~17:00  
場 所：かごしま県民交流センター 4階 大研修室4  
研修内容：「ケアプラン作成に関する研修会 ～書き方研修会～」  
講 師：宇治野理事  
ケアマネジャーの自立支援のケアプランや困難事例の解決法のみえる  
プランづくりができる。

3) ゲートキーパー養成講座について

(新地一浩 理事)

保健センターよりゲートキーパー(地域や職場、教育等の分野において、  
自殺のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へつなぐ役  
割が期待される人材のこと)養成講座の取り組みについて協力依頼があり。  
来年度、保健センターと連絡をとりあって進めていく予定。

4. その他

1) 会員数・会費納入状況について

(佐藤三奈 理事)

会員数 521名。会費入金済み会員 451名(12/12現在)。  
新入会員 66名  
現在未納の会員 70名となっており12月末までを納入受付することとな  
っている。

2) ケアマネジャーと福祉用具相談員との合同研修会について

日本福祉用具供給協会より、ケアマネジャーと福祉用具相談員との合同  
研修会 in 鹿児島 of 広報依頼があり。後援、チラシの郵便物の同封等協  
力することに決定。

以上をもって、協議が終了したので午後7時10分、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 24年 / 月 7日

議 長 理 事

大勝 洋祐



理 事

事

木場 秀彦



理 事

事

小湊 珠子

